



福祉

2021年度新規採用職員インタビュー

「子どもも、大人も、楽しく安全に

暮らせるお手伝い」

所属

浜児童相談所 相談判定課

Q. 現在の仕事内容とそのやりがいについて教えてください。

A. 児童福祉司として仕事をしています。児童相談所は、虐待されている子どもの対応を行うイメージが強いと思いますが、私はその中でも、保護者の方の面接や、学校など関係機関との連絡調整を行っています。また、他にも、不登校やゲーム依存、発達特性のある子どもへの接し方などに困っている保護者の方の相談対応なども行っています。

一年目ながら、さまざまな相談に対応しなければならないこともあり、知識や経験がまだまだ足りていないと痛感することもあります。身近な先輩の対応を見て、日々勉強を重ねています。

対応させていただいた家庭が、家族みんなで仲良く暮らしていることを知った時は、とてもうれしい気持ちになりました。



↑相談対応の様子

Q. 福島県職員として、実現したいこと、目標としていることは何ですか。

A. 福祉職という立場で、子どもと保護者が楽しく安全に暮らせる方法を一緒に考えていきたいです。子どもが困っているケースも、もちろんありますが、保護者も困りごとを抱えていることが多いように思います。そのため、大人も子どもも、お互いが楽しい毎日を過ごせるよう支援していくことが目標です。児童相談所が関わった後も、家族みんなの力で楽しく過ごせるようになってもらえたら嬉しいです。



Q. 県職員を志望した理由を教えてください。

A. 大学時代に「福島県で児童に関わる分野で働きたい」という漠然とした思いを抱える中、県職員のインターンシップに参加しました。そこで、児童相談所の業務を学び、施設見学や保護者面接の同席など、貴重な経験をさせていただきました。実際に現場に行ったからこそ得られた学びがありました。児童相談所で働く先輩方を見て、私も頑張りたいと思い、志望しました。



↑ 関係機関との連絡調整の様子



↑ 来客対応の様子

Q. 職場の雰囲気を教えてください。

A. 職員の男女比は女性の方が少し多いです。仕事で困っていることや、分からないことなどがあれば、先輩職員の方が優しく教えてくださいます。

私が今勤めている浜児童相談所は、職員同士仲が良く、とても明るく和気あいあいとした職場です。

Q. あなたをキーワードで伝えるとしたら、どんな言葉が思い浮かびますか。

A. 「美味しいもの」「県内の魅力」「明るさを忘れず前向きに」「和気あいあい」「楽しく生活するために」

Q. 「美味しいもの」について教えてください。

A. 業務上、外勤や出張が多いです。そのようなときに、その地の美味しいものを食べることが、楽しみの1つです。仕事外でも、カフェ巡りやラーメンを食べに行くことがあります。美味しいものを食べて気持ちのリフレッシュも大切にしています。